

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【法律・経済分野】	おすすめポイント	
	データ利活用入門 ～データの力を業務の味方に！～	「データには合意形成を進める力がある」など、行政にデータ利活用が必要な理由をわかりやすく学ぶとともに、サンプルデータを用いて実際に操作しながら、ピボットテーブルや Power Query など Excel によるデータ分析のコツをつかむことができます。	
講師	(一社)リンクデータ 代表理事 <small>しもやま</small> 紗代子	実施日数・時間	計4時間30分程度
		手法	動画研修
		会場	各所属ほか
		市町村研修コード	205
ねらい	地方自治体の課題解決のために必要なデータ利活用の意義や必要性を知るとともに、保有しているデータを有効に活用し、行政サービスの向上や政策の立案に役立てるための知識を習得します。また、事例等を通じて課題解決に向けたデータの横断的な活用方法や分析方法についての理解を深めます。		
対象者	【県】 次のいずれかに該当する職員 ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 【市町村】 主任級以下の職員		
実施日	研修生に別途通知		
予定人員	県100人・市町村50人		
学 習 計 画			
カリキュラム	動画時間数		内 容
	時	分	
講義編	4	30	<ul style="list-style-type: none"> データを使う必要性とメリット 合意形成を進めるためのデータ活用 政策立案のためのデータ分析プロセス データ可視化の使いどころ 行政データの公開がもたらす社会的インパクト 活用しやすいデータ作りのポイント
実践編			<ul style="list-style-type: none"> 表に含まれる各パーツの呼び方の確認 表形式データの「タテ持ち」と「ヨコ持ち」の違い ピボットテーブルとピボットグラフを使いこなす e-Statを使った統計データの探し方 Power Queryを使った複数データの結合 覚えておくと便利なExcel小技
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。 J-LIS（地方公共団体情報システム機構）がR4.8.22～R5.2.28に実施したeラーニング「データ利活用入門セミナー」と同内容です。 		